

「感染の再拡大防止に向けて（道案）」等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

- ・札幌市の感染者の増加、変異株の感染確認、病床数の増加などを見ると、札幌市内における外出・往来自粛の徹底は当然のことと考える。
- ・今後は、大学を含め学校の新学期が始まることから、10代・20代の感染防止の徹底が必要。
- ・「まん延防止等重点措置」の実施区域との往来自粛措置の追加については理解する。
- ・総評に記載されているように今後の対策としてワクチン接種の適切な実施が何よりも重要と考えるが、道において先行して実施される予定であった医療従事者へのワクチン接種が遅れており、高齢者への接種が間近に迫っている町村から不安の声が上がっている。また、一部の町村では、計画していた高齢者への接種分を医療従事者の接種に転用せざるを得ない状況が生じるなど、対応に苦慮している。こうしたことから、道においては、ワクチンの供給状況や今後の供給予定等について、速やかに公表するなど市町村における住民へのワクチン接種に混乱を生じさせることのないよう適切な対応に努めて頂きたい。
- ・特に異論なし。変異株の陽性率が高くなってきており、感染力が強い為、若年層への広まりが気になる。これから新学期を迎える為、一層の注意が必要。
- ・特に問題ない。特に札幌市については引き続き、厳しい感染対策が必要。
- ・飲食時の行動のポイントに換気の良い場所選択するといった、行動するものの注意点として追加をするとよいと思う。行政の注意喚起は十分しているので、行動する側のさらなる感染対策の強化が必要と考える。

2 関係団体の意見

- ・札幌市以外の感染がやや減少傾向にあるのに対し、札幌市は依然として減少せずにステージ4相当の前後で推移している状況。知事においては、札幌市長と連携の上、札幌市民をはじめとする道民や事業者が「札幌市内の外出自粛・札幌市との往来自粛」などの感染防止対策に前向きに取り組んでいただけるようなメッセージの発信をお願いしたい。
- ・既に道においては、「外出自粛などの行動制限が要請されている地域との不要不急の往来自粛要請」を行っているが、今回、宮城県・大阪府・兵庫県にまん延防止等重点措置が講じられることを契機に、「不要不急の往来自粛要請」について対象都府県名とともに道民に今一度、周知徹底していただき、感染が拡大傾向にある他都府県との移動によって北海道の感染が拡大するリスクを抑制していただきたい。
- ・変異株について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、つまびらかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。

- ・ 4月16日までの「札幌市内における協力要請」の期間中であっても、札幌市において感染が減少し「道の警戒ステージ3相当以下」という目標を達成した場合には、要請を解除し、札幌市についても「新しい旅のスタイル」事業を開始していただくようお願いしたい。
- ・ 感染がさらに減少した際には、「新しい旅のスタイル」事業における「個人・家族」「域内」といった制約を取り払い、「交通付きの旅行商品」等も含めた、「どうみん割」の再開を可能な限り早期にお願いしたい。